



混沌とした社会で生きる力を育む

早いもので、今年度もあと1ヶ月あまりとなりました。

2年間に及ぶ新型コロナウイルスの世界的な感染の広がりにより、我が国の政治や経済にも大きな影響を与えています。このような先行き不透明な現状と併せて、「努力すれば成果が得られる」というかつての高度成長期とは違った社会状況も見られます。それだけに、教育においては、これまで以上に社会の変化に主体的に関わって困難を乗り越える力の育成が強く求められていると思います。

社会全体が成長期にあった学校現場では、「頑張ればよい結果が得られる。結果が出ないのは努力が足りないからだ。」という声かけによりそれなりの成果も見られ、頑張ることの動機づけが社会全体の了解事項でもありました。しかし、思うような経済成長や課題解決が容易ではない今日の状況は、頑張ればできるという価値観だけでは解決できない課題が見えてきます。また、昨今、努力が報われにくいという判断から、確実に成果が得られることにしか取り組まない現実があります。励ませば励ますほど、失敗を避け、現実を直視することなく自分を守る姿勢が見え隠れします。それは、同時に、「褒めて励ませば育つ」という評価の転換を迫るものと言えます。

このような混沌とした社会において、子どもたちの生きる力を育むためには、自らの役割と責任に気づく体験により、自分には現実を変える力があると気づくこと、そして、自らの言動には責任を伴うことを実感することが大切です。そこで、励まされることによってのみ行動するのではなく、自らの学びを生かすことで「果たすべき役割」に気づき、自ら判断し実行に移すことを重視していきたいと思います。

3月は、一人一人の頑張りを認め、1年間の取組を振り返り、新たなスタートに向け、自らの役割に気づく様々な体験の場を生かしていきたいと思います。



行事予定

- 2日(水) 6年生を送る会
- 3日(木) 委員会活動(4・5・6年生)
- 4日(金) 字会(新登校班長の決定)
全校5校時まで
- 9日(水) BFC修了式(5・6年生)
- 10日(木) 全校5校時まで
- 11日(金) 全校5校時まで
- 17日(木) 1～3・6年生 給食終了後下校 13:15
4・5年生 卒業式会場準備の後下校 14:30
- 18日(金) 令和3年度卒業証書授与式 下校 11:30
- 21日(月) 春分の日
- 22日(火) 大掃除・ワックスがけ 全校5校時まで
- 23日(水) 給食最終
- 24日(木) 修了式 全校集団下校 11:30
※離任式はありません



開かれた学校づくりに向けて

一学校評価から見える本校の教育について②

保護者アンケート集計結果

※4段階評価を100点満点に換算したもの



No.	アンケート内容	R3 12月	R2 12月	R元 12月
1	「自ら学び、心豊かにたくましく生きる伊香貝っ子の育成」がなされているか。	86	83	85
2	教育方針や教育活動をわかりやすく伝えているか。	88	85	85
3	特色ある教育活動を進めているか。	90	85	85
4	こどもの体力は向上しているか。	82	85	80
5	地域の歴史・自然・福祉施設や伝統文化などを大切にして、子どもに学ばせているか。	89	88	88
6	家庭や地域の方などに挨拶ができていますか。	75	78	80
7	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できているか。	71	75	75
8	登下校に対して、安全への配慮ができていますか。	82	85	83
9	自他の命を大切にする態度を育て、指導ができていますか。	84	85	83
10	けがや病気などへの学校の対応と指導はできていますか。	88	88	88
11	子どもは学校へ行くのを楽しみにしているか。	88	88	88
12	縦割り活動は活発に行われているか。	88	90	85
13	子どもたちに自信をつけさせるような取り組みをしているか。	84	85	83
14	一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる教育活動を行っているか。	84	85	83
15	子どもたちは、授業が楽しくわかりやすいと言っているか。	83	80	80
16	子どもたちに基礎・基本の力はついているか。	79	80	80
17	子どもたちは、自分で進んで調べたり学習したりしているか。	77	78	78
18	子どもたちには家庭学習の習慣が身についているか。	82	78	78
19	教職員は熱意をもって子どもにわかりやすい授業を行っているか。	88	88	83
20	教職員は、豊かな心をもつ子どもを育てようとしているか。	88	88	83
21	教職員は子どもをよく理解してくれているか。	85	85	83
22	家庭学習に対する学校の指導や支援はできていますか。	81	83	83
23	教職員の接客、言葉遣い、電話での対応、服装などは教師として適切か。	90	88	88
24	保護者や地域の方々の声は、学校運営に十分反映されているか。	84	83	80
25	教職員は保護者や地域の方々と交流を深め、開かれた学校づくりを進めているか。	84	85	80
26	保護者や祖父母の参観授業の内容は適切であるか。	88	85	83
27	学校行事やPTA活動は、家庭や地域住民が参加しやすい行事になっているか。	88	85	80
28	学校だより（学校報・PTA広報・ブログ）や学級通信、事務連絡等は適切であるか。	91	85	85

保護者アンケートからみた成果と課題



教育活動全般について、いつもご理解とご協力をありがとうございます。前回に引き続き、全体的に高評価をいただきました。特に下線部の評価（「特色ある教育活動」や「学校だより・・・」）について、前回より評価が高く、学校の教育活動についてご理解いただいていると感じ、嬉しく思います。「小規模であることを自信に思えるような教育活動をお願いしたい。」という保護者の皆様の思いを真摯に受け止め、今後も教育活動に教職員一同、全力を尽くしたいと思っております。

学校施設については、いつもご心配をおかけしております。今年度、体育館ステージ天井の点検及び、修繕、児童トイレの改修等、教育委員会を通じて進めさせていただいているところです。また、「あいさつ」や「進んで学習する」は他に比べ、伸び悩む項目です。学校では、「あいさつ」の意義や大切さを伝えることを根気よく続けていきます。学習については、ICTの活用、タブレットの家庭への持ち帰りも始まりました。子ども達の主体的な学習が進むよう、教員も学びを止めることなく研鑽してまいります。